

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【公表番号】特表2006-506257(P2006-506257A)

【公表日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-008

【出願番号】特願2004-553426(P2004-553426)

【国際特許分類】

B 2 9 B 9/10 (2006.01)

B 2 9 B 9/12 (2006.01)

B 2 9 B 11/06 (2006.01)

B 2 9 B 11/14 (2006.01)

C 0 8 L 3/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

H 0 1 M 8/02 (2006.01)

H 0 1 M 8/24 (2006.01)

【F I】

B 2 9 B 9/10

B 2 9 B 9/12

B 2 9 B 11/06

B 2 9 B 11/14

C 0 8 L 3/00

C 0 8 L 101/00

H 0 1 M 8/02 B

H 0 1 M 8/24 T

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a. 熱可塑性樹脂と、

b. 自己造粒性押出物が押出機バレルを出るのに十分なフィラーと、

を多軸スクルー押出機によって押し出す工程を含む熱可塑性複合材料顆粒の形成方法。

【請求項2】

前記フィラーが導電性粒子を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記押出物を成形して燃料電池セパレーターまたはエンドプレートを形成する工程をさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

熱可塑性樹脂とフィラーとを含有する不規則な形状の顆粒のブレンドを含む自己造粒性の熱可塑性複合材料。

【請求項5】

前記樹脂がポリフェニレンサルファイド、ポリフェニレンオキシド、液晶ポリマー、ポリアミド、ポリカーボネート、ポリエステル、ポリフッ化ビニリデンまたはポリオレフィ

ンを含む、請求項 4 に記載の熱可塑性複合材料。

【請求項 6】

前記フィラーが導電性粒子を含む、請求項 4 に記載の熱可塑性複合材料。